#### 第74番 甲山寺

●香川県善通寺市弘田町1765-1 ☎0877-63-0074





#### 第75番 善通寺

- ●香川県善通寺市善通寺町3-3-1 ☎0877-62-0111
- ●宿坊/あり(要予約)



#### 沿線の見どころ



# 「善通寺五岳の里」市民集いの丘公園

善通寺自慢の五岳山を背景に、約4haもの緩やかな丘陵地が広がる広大な公園。園内はいず折々の花々や木々で彩られており、「さくら街道」で花見を楽しんだり、芝生の「はらっぱたりもでも場」でお弁当を広げたりもできる。自然に親しむ各種イベント体験教室なども頻繁に開催され、市民をはじめ多くの人々が集い楽しむ場所となっている。

M 火曜 图 無料



#### 境内の見どころ



#### 岩窟の毘沙門天

岩窟のお堂に安置された、弘 法大師が石を割って刻んだという毘沙門天。甲山寺建立の きっかけを作ったという不思議 な翁がこの岩窟から姿を現し、 大師に暗示を与えたという。数 年前までは大師堂の隣でひっ そりと口を開けていたが、現在 は周囲を改修して、山門からで もはっきりと毘沙門天堂を見る ことができる。



### 境内の見どころ



#### 子安地蔵尊

大師堂へ続く石段の横に祀られているお地蔵様で、側に「ありがたやめぐみもふかき血をわけて家のよつぎを守るみ仏」とある。子どもに恵まれない女性がお参りし、前掛けを持ち帰ったところ懐妊し、お礼に新しい前掛けを作ってお供えしたという話から、子どもを授かる地蔵として参拝者が絶えない。





Japan Heritage 日本遺産

## 日本遺産「四国遍路 | ~回遊型巡礼路と独自の巡礼文化~

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・士佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業/発行:四国遍路日本遺産協議会/制作:(株)エス・ピー・シー

こころをつなげて四国はひとつ 四国遍路を世界遺産に



第74番

# 医圣山 甲山寺

いおうざん たほういん こうやまじ

# 満濃池治水の成功を祈願した寺

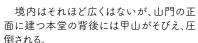
#### 歴史・全体像



平安時代初期、善通寺と曼荼羅寺の間に寺を建立しようと霊地を探していた弘法大師は、 甲山の麓で一人の翁に出会った。翁は「私は昔からこの地に住み、人々に仏の教えを広め、 人々に幸福と利益を与えてきた聖者である」と言い、この地で寺を建立するよう告げたという。 大師はすぐに毘沙門天像を彫り、山の岩窟に安置した。

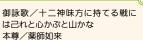
その後、巨大なため池である満濃池が決壊。 大師は朝廷から満濃池造りの別当に任命され、工事を指揮し、わずか3ヶ月で完成させたという。朝廷から報奨金を賜った大師は、工事の無事を祈願して刻んだ薬師如来を本尊として堂宇を建立、寺号を甲山寺とした。

#### 境内



本堂に安置されている薬師如来像は檜の一木造りで、重厚で力強い姿を見せている。本堂の左側の石段を上ったところには大師堂があり、中には黒衣をまとった大師像が建っている。大師堂の左側には毘沙門天像を安置している岩窟があり、周りはいかにも霊地らしい雰囲気が漂う。

また、岩窟の脇には甲山の山道が続き、江戸時代に開かれたという西国三十三ヶ所の 札所や子どもの広場などを巡るトリムコース に続いている。



真言/おん ころころ せんだり まと うぎ そわか

宗派/真言宗善通寺派 開基/弘法大師









日本遺産

